



# ふれあい 放水路

1996  
(平成8年)  
第26号  
5月



## 山の上から

開削部の山の上に登ってみると、足下には昨年までの文化財調査の跡が広がり、荒々しい岩肌があらわになっていきます。神戸川方向を眺めると、黄砂のためか、遠くの山がかすんで見えます。

放水路工事に先立ち、四月中旬から、今年度の埋蔵文化財調査が始まりました。日よけをした作業員の皆さんが、丁寧に発掘作業を進めています。

写真中央右にある茶色い小さな山は「半分城跡」です。ここは半分城の主郭しゅかくがあった場所であるため、城の砦とりでや見張り台などが見つかるかもしれませぬ。また、山の中腹には横穴墓もあり、いくつあるのか楽しみです。

この他今年度は、昨年度に引き続き、三田谷I遺跡、古志本郷遺跡、上塩冶横穴墓群の調査を行います。今年は何んなものが見つかるのでしょうか。

# 平成8年度の放水路事業計画

## 神戸川下流右岸側に合流する新内藤川では

平成7年度に続き、新内藤川水門の本体を施工します。

## 崎屋地区では

平成7年度に続き、崎屋橋の橋脚2基を施工します。また、崎屋橋から下流へ堤脚水路を施工します。

## 古志地区では

平成7年度に続き、古志橋の橋脚2基と地盤改良工事を施工します。また、塩冶赤川の付け替えを施工します。

## 開削部では

平成7年度に続き、B谷の工事用道路を施工します。道路の施工には開削部で掘削した土を利用します。また、B谷の防災調整池の工事に着手し、残土処理場の整備を進めます。

## 下長浜地区では

現在の堤防道路を切り替えるための小段道路を施工します。

## 神戸川中流左岸に合流する新宮川では

山崎上橋の改築工事に着手し、大型車の交通量が多い市道本郷新宮線の改良を行います。

## 塩冶地区では

堤脚水路を施工します。

平成7年度の斐伊川放水路事業は、古志橋、崎屋橋、新内藤川水門の大型構造物の工事着手をはじめとして、皆様のご協力によりほぼ予定通りに実施することができました。

平成8年度は引き続き、これらの構造物の施工を行うとともに、開削部残土処理場の準備工事として、工事用道路、防災調整池の施工を行います。

また、事業用地内の除草、及び用地管理については、地域の皆様にご迷惑をおかけすることのないよう、適切に実施していきます。

本年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## け・ん・せ・つ 豆知識

### 小段とは

堤防の安定を図るために、堤防の中腹に設けた平段のことです。



※上記事業計画は予定であり、変更になることがあります。

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平8中梗、第184号)

# 工事情報 コーナー

## これは何でしよう？

今年三月、斐伊川放水路事業予定地の中に突然生えてきた「紅白の柱」を、既にご覧になった方もいらっしゃるのではないかと思えます。

これは「河芯標識柱」といって、放水路の開削部（大津町来原から上塩冶町半分）のほぼ中心を分かりやすく示しているもので、十七本が設置される予定です。

標識柱の上にある矢印は、将来川が流れる方向（斐伊川の分流点から神戸川の合流点方向）を指しています。

また、紅白の旗も立っていますが、これは川幅を示しています。本当にこんなところに放水路ができるのかと驚かれるかもしれませんが、お近くを通られるときは、この標識柱や旗を探してみませんか。



▲分流点側（大津町来原）



▲合流点側（上塩冶町半分）



▲川幅を示す旗

5月は水防月間です  
みずから守ろう  
みんなの地域



建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所  
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などが  
ございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

## ふれあい 放水路 通信

### 第5回

## 東三瓶ポピーまつり 御案内

頓原町の志津見ダム建設予定地内に、今年もポピーの花畑が広がります。六月十六日(日)には、恒例の「ポピーまつり」が行われますので、ご家族お揃いでお出かけ下さい。

○問い合わせ先

斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 調査設計第一課  
☎(〇八五三)二一―一六五〇

### 「懐かしいあの頃」の写真募集

昔の神戸川、あるいは神戸川周辺の写真をお送り下さい。「ふれあい放水路」などで使わせていただこうと思えます。写真をお借りした方には、お返しする際に引きのばしパネルにして差し上げます。

○問い合わせ先

出雲工事事務所 占用調整課  
☎(〇八五三)二一―一八五〇